

すぎなみ大人“熟”してる？

Jukuseru? TIMES 10

平成22年10月6日発行

発行元：かわかみなと（非営利活動団体）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

VOL.8

アイデアも、素材も集まって… 10月8日(金) トライアル・イベント準備万端！！

9月24日
昼コース

大人塾(森の住人と新しい仲間たち)
とにかくやってみよう

日時 10月8日(金)10:00～15:50

場所 和田堀公園 バーベキュー広場

(駐車代 1時間 200円、その際30分/100円)

11:30～ みんなの持ちよった お芋をわけて、

お昼をいただきます

持ち物

・小まな箱(おぼんがかり)に包み

中に銀紙を敷いておく

・マイはし、自分の飲み物

・1箱お料理(お芋をわけて)

・お菓子(お芋をわけて)

・お茶(お芋をわけて)

・お水(お芋をわけて)

・お箸(お芋をわけて)

・お盆(お芋をわけて)

・お皿(お芋をわけて)

・お杯(お芋をわけて)

・お箸(お芋をわけて)

・お盆(お芋をわけて)

・お皿(お芋をわけて)

・お杯(お芋をわけて)

・お箸(お芋をわけて)

・お盆(お芋をわけて)

・お皿(お芋をわけて)

・お杯(お芋をわけて)

・お箸(お芋をわけて)

・お盆(お芋をわけて)

・お皿(お芋をわけて)

・お杯(お芋をわけて)

・お箸(お芋をわけて)

・お盆(お芋をわけて)

・お皿(お芋をわけて)

・お杯(お芋をわけて)

・お箸(お芋をわけて)

・お盆(お芋をわけて)

・お皿(お芋をわけて)

・お杯(お芋をわけて)

・お箸(お芋をわけて)

・お盆(お芋をわけて)

・お皿(お芋をわけて)

・お杯(お芋をわけて)

・お箸(お芋をわけて)

・お盆(お芋をわけて)

・お皿(お芋をわけて)

・お杯(お芋をわけて)

・お箸(お芋をわけて)

・お盆(お芋をわけて)

・お皿(お芋をわけて)

・お杯(お芋をわけて)

・お箸(お芋をわけて)

・お盆(お芋をわけて)

・お皿(お芋をわけて)

・お杯(お芋をわけて)

・お箸(お芋をわけて)

・お盆(お芋をわけて)

・お皿(お芋をわけて)

・お杯(お芋をわけて)

・お箸(お芋をわけて)

・お盆(お芋をわけて)

・お皿(お芋をわけて)

・お杯(お芋をわけて)

今回は、前回に実施することが決定したトライアル・イベントについて、講座開始時間からまるまる2時間、楽しくも綿密に話し合う時間となった。前回の講座から2週間、その間に会場となる和田堀公園の地図や、当日の企画案などを用意してくれた受講生があり、そうしたみんなと考えあうための素材がゾクゾクと出てくる。その素材をもとにしながら、何が必要か、どんな一日にしたいか、などを話し合っていく。

話し合いがはじまる前に、松田先生からは「今日は、全てみなさんの自由な発想とやり方で話し合ってください」との言葉がけ。それに呼応するように、受講生の中から、今日一日だけの「司会」や「記録」が立てられ、自発的に話し合いが進んでいく。「ケガしたときのために、保険は必要?」、「当日のゴミはどうする?」、「集合時間は?場所は?」...など、合意を形成しながら決定していった。

また、当日はすぎなみ大人塾と同じように「だがしや楽校」をテーマに年間講座を実施している横浜市都筑区の「つづき楽校」の参加者が来ることになっており、「せっかくなので都筑のみなさんに杉並のまち歩きツアーいかがですか?」と提案すると、和田堀～永福町周辺に詳しい受講生がさっそくガイドを引き受けてくれた。講座最後には、今日話し合ったことの最終確認。するとある受講生から、「このままじゃつままない!当日、突然の『サプライズ』や『おすそ分け』大歓迎!で、各自がより楽しくなるようなことを考えて当日を盛り上げましょう!」という一言が。「だがしや楽校」の持つ「ゆるやかさ」、「手軽さ」、「適当さ」の精神が生きています。夜コースのみなさんも、ぜひ「お芋」持参でご参加されてはいかがでしょうか?(記事:川上)

集まったアイデア、地図など、
みんなで考えあうための素材
素材をもとにしながらグループで
話し合い、全体で共有していく。

10月8日(金) トライアル・イベント

焼き芋パーティー型「だがしや楽校」 22.09.24

【集合時間】9時30分

【集合場所】和田堀公園バーベキュー広場

【各自の持ちもの】

マイはし、マイドリンク、アルミに包んだ芋、軍手、タオル

【費用】一人100円～200円(保険代・薪代など)を自主会計で集める

【役割分担】

自分みせ(店・見せ)出店者

小物ワークショップ(宮崎)、ミニトランクで...(大島)、手遊び(御木)、杉並語り(小澤)、魚釣りゲーム(國松)、タオル体操(佐藤)、自家製野菜(大塚、安島、海老沼)

焼き芋担当:西崎 会計担当:大島 傷害保険担当:海老沼

横浜都筑への「まち歩き」ガイド:小澤、海老沼、大島、宮崎

当日飛び入り・サプライズ・おすそ分けなど
大歓迎!!



9月22日
夜コース

「ワークショップ」を企画しよう！

参加するだけでなく、開催する立場を体験する

いよいよ夜コースは第2フェーズに突入。テーマは「場作りの実践力を身につける」。そして第2フェーズのゴールは12月に自分たちでワークショップを行うことである。同じ想いを持って集まった参加者が議論し、自ら考え、その体験を通し様々な気付きを得ることを目的とするワークショップ。私たちが目的としているソーシャルアクションを進めていくためには、ワークショップは重要な手段となりえるのだ。その理由から、今回受講生にワークショップを企画・実施してもらうこととなった。

そもそも講義・講演とワークショップとの違いは何だろうか？前者の企画では、「誰がどんな内容を話すか」をデザインし、後者では「どんな体験をしてほしいか」をデザインするものである。（下記資料参照）

よりよいワークショップを開催するには、「何をどのように伝えるか」というプログラムづくり、当日のファシリテーション能力、運営力が必要であり、なかなか大変だ。受講生は、開発シートに従って各自の想いを記入し、ワークショップのプログラムを考えていく。ワークショップ参加者が「体験したことが楽しい」と思えるようなプログラム作りに向けて、悩みながらの作業が続いた。すらすら書けた人、ワークショップには合わないなあと思う人など、様々な光景である。

今回は「大人塾ワークショップ総選挙」！各自に発表してもらい、実施するワークショップを投票で決定する。そして決定したワークショップごとにチームを組み、12月の実施までチームで段取り・内容を詰めていく。どういうワークショップ提案がでてるか？！次回が楽しみである。（記事：湊）



違いを把握して、ワークショップを企画してみよう！次回は総選挙！



絵 オガタサン

毎回毎回、考えては書き続ける受講生の姿に感動！

講義とワークショップ

empublic

講義・講演

- 参加者に内容を伝える
- 参加者は聞き手
 - 話し手がプレゼン内容を用意し、話す
 - 参加者は話し手から学ぶ
- 内容を伝えやすい演出、雰囲気づくり
- 話し手の専門性、話す技量が満足度を決める

コンテンツ・デザイン

ワークショップ

- 参加者が議論に参加し、自ら考える機会を提供する
- 参加者が主役
 - その「場」で生まれることを重視する
 - 参加者が自分自身で気付くことをサポートする
- 参加者が話しやすい演出、オープンな雰囲気づくり
- 参加者が、どれだけ参加できたか、自分で気付けたかが満足度を決める

経験デザイン

今月の大人“塾っ人”

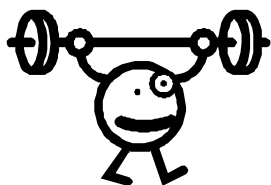
大人塾に参加中の...イカした！大人たちに聞きました！

出身 自分にキャッチコピーをつけたら？ 自分のつながりPR

福嶋 美世 さん

奈良県

縁の下の力持ち！影の力になれたら...



榊原 弘之 さん

新潟県

発酵食品(飲み物)大好き！
月一回くらいのペースで、長野県で農作業をしています！

植田 一 さん

チューナーちゅうさん

山口県下関生まれ小学校4年から東京(杉並27年)大人宿(塾)宴会係 飲み会はおまかせ
会いたい人と飲みたい時に！人にやさしく自分にもやさしく！

中村 真美 さん

静岡県裾野(すその)市ケセラセラ
子供の貧困問題に取り組みたい方、どうぞ声をかけてください！

すぎなみ大人 塾 してる？の発行にあたって

この新聞は事務局スタッフ川上・湊の独断と偏見と多少の事実に基づき作成しております。